

# 事前協議 修正点

## 4、施設の概要

- 建築工事が完了したら、検査済証の交付を受けてから使用すること。
- 使用に際しては、防火対象物使用開始届出書を提出すること。  
→そのようにいたします。

## 6、従業員について

- 別紙勤務体制・形態一覧表によると同職種であるが勤務時間の異なる従業者が複数いる。これらの従業者について同額の月給が計上されているため、事業所における賃金の考え方を示すこと。  
→職員の職種と月給の金額を変更しています。非常勤の「児童指導員・保育士」は一週間のうち、交代で1ヵ月ほぼ同じ日数の勤務になります。トータルで計算すると、2人の月給は同じになります。

## 8、必要な資金と調達方法

- 資金繰りに余裕がない計画となっている。開設4か月のキャッシュフローが△600万円を超えるため、追加融資などによる運転資金の増額を検討すること。  
→運転資金を改善しました。

## 9、事業の見直し

- 利用者が8人になれば事業収支が黒字化する計画となっているが、早期に利用者を獲得するための方策を示すこと。  
→現在、利用希望の方が3名おられます。さらに広告、広報誌、SNSなどにより情報を発信や、相談支援事業所などの関係機関との連携をします。
- 利用者の獲得に期間を要し事業収支の赤字が嵩む場合は、追加融資によって運転資金を増額する、借入返済の条件を変更し、月々の返済額を縮小するなどの対応策を検討すること。  
→8の通りです。
- 賞与支給月は、社会保険料も増加するので収支予算書に金額を計上すること。  
→承知しました。

## 11、平面図

- この事業に使用する区画を明示するとともに、各室の面積を記載すること。  
→平面図を再提出いたします。別紙（平面図）
- 遊戯場、機能回復訓練室での具体的な活動内容を示すこと。併せて地域交流センターの活用方法も示すこと。  
→遊戯室、機能訓練室の名称を変更しています。両部屋とも、主に設定活動で使用します。また、給

食、午後からの身体を休めるスペースに使用します。地域交流センターは、絵本を貸し出したり、交流したりするスペースで、地域の方が中心となって活動します。

○外遊びができるスペースはあるのか。また、地域の方と交流する畑はどこに所在しているのか。敷地全体の図面を添付して示すこと。

→事業所の近くに公園があります（東部第7公園）。地図を別紙で提出いたします。（近隣地図）畑は、地域の方に貸していただき、地域の方々、当社の他事業所の利用者と一緒に野菜を育てています。場所は、徒歩10分の所にあります。

○年中児が午睡をしている時間帯も年長児は活動するスケジュールになっているが、それぞれどのスペースを使用するのか示すこと。

→遊戯室で年中児が身体を休めます。年長児は、機能訓練室、公園などで活動をします。

○療育時間中の施錠箇所や児童の飛び出し防止策など安全面での配慮点を示すこと。

→事業所の玄関と、裏の出入り口は施錠をします。また、外出する時は事前に約束（飛び出したりせずに職員と職員の間を歩く）するとともに、必ず先に職員が出てから利用児が出るという流れを徹底します。

## 12 事業計画

○療育は、定員10名の集団で行うのか、小グループを編成して行うのかその方法を示すこと。

→基本は集団での療育となります。利用児の状況により、発達や学年を踏まえ、発達段階に合わせた内容にすることも考えています。

○週2～3日の併行通園の児童が主になると思われるが、集団編成において配慮する点を示すこと。

→利用児の特性を把握し、それぞれが力を発揮しやすいような編成をします。（例えば、元気いっばいのグループに、発信が少ない子を入れないなど）

○保護者のニーズに合わせてどのような送迎を行うことを想定しているのか示すこと。

→自宅をメインに送迎します。

## 13、利用者処遇

○年長児は学習支援にも取り組むようになっているが、個別指導なのか、グループ指導なのか。また、発達段階やペースが異なる児童の学習内容をどのように考慮しているのか示すこと。

→年長児は一つのグループで支援しますが、それぞれの発達状況に合わせた教材を使います。

○親子行事や懇談会など年間を通した保護者支援の取り組みを示すこと。

→別紙（保護者支援 年間計画）

○世代間交流はどのような活動を行うのか。通常の療育に支障が出ないように十分配慮すること。

→世代間交流は、毎月の誕生日会、野菜の苗植え、収穫です。通常の療育に支障のないように配慮します。

○職員は応用行動分析を学ぶとのことだが、職員の研修計画を示すこと。

→主には参考図書を読み合わせとグループワークをします。講師の方をお招きしての勉強会も実施しています。

#### 14、防災計画

○一時的に建物外に避難することが想定される場合、敷地内に適当なスペースはあるか。敷地全体の図面を添付して示すこと。

→別紙（平面図 第一避難）に記しています。キッチンからの火災の場合は A、エレベーターからの火災の場合は B に避難します。

#### 15、一日の流れ

○開所から自由あそびの時間（9:00～10:30）が長いですが、この間の具体的な活動内容を示すこと。

→時間の変更をしました。利用児がしたい遊びが出来る時間として多くとっていますが、遊びに職員が介入し、意図的に「順番」「貸して」「ごめんね」などの経験が出来る場面を作ったり、ルールのある遊びを取り入れたりします。